

《コース専門教育科目 コース専門応用科目》

科目名	障害児保育研究				
担当者氏名	山崎 道子				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択必修	開講年次・開講期	4年・春期

《授業の概要》

障害のある子どもの自立と社会参加に向けて、持っている力を発揮するための適切な指導や必要な支援に取り組んでいる教育現場等を知る。

また、障害のある子どもの理解と支援や援助のあり方について、ワークショップ等を通して考察を深める。

《テキスト》

なし。  
随時、資料を配布する。

《参考図書》

適宜、参考図書を紹介する。

《授業の到達目標》

障害のある子どもの自立や社会参加に向けた取組等を知り、子ども一人一人が持っている力を発揮するための内容や指導等について考える。

「ものを見て」「聞いて」「触れて」感じ、感動することが考えることに結びつく。ワークショップ等を通して、感じたことや子どもをわかろうとする気持ちが表現できるようになる。

《授業時間外学習》

「障害」に関するできごとや情報に関心を持ち、「障害のある子ども」の保育・教育・福祉等について理解を深める。

《成績評価の方法》

平常点60%、小レポート20%、定期試験20%

《備考》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	オリエンテーション	授業の目的と内容及び進め方
2	特別支援学校における教育について	「障害」についての理解
3	知的障害のある子どもについて	主に知的障害のある子どもの理解について
4	肢体不自由のある子どもについて	主に肢体不自由の子ども理解について
5	視覚障害のある子どもについて	主に視覚障害のある子どもの理解について
6	聴覚障害のある子どもについて	主に聴覚障害のある子どもの理解について
7	病・虚弱の子どもについて	主に病・虚弱の子ども理解について
8	言語障害のある子どもについて	主に言語障害のある子どもの理解について
9	発達障害のある子どもについて	主に発達障害のある子どもの理解について
10	障害のある子どもの生活	・障害のある子どもの「暮らし」（生活の場・日中活動・余暇について） ・関係機関との連携
11	障害のある子どもの「進路指導」	「自分らしく」「いきがい」「自分で決める」ことについて
12	障害のある人の卒業後の生活について	企業就労を中心に
13	障害のある人の卒業後の生活について	福祉的就労を中心に
14	保護者・家庭への支援について	本人を支える、きょうだいを理解する、家族を支える等
15	まとめ	自立とは。「共に生きる」社会を目指して。